

学校関係者評価報告書

奈良学園小学校

1. 学校関係者評価実施日 平成30年2月21日(水)

2. 評価結果

(大項目) I. 教育活動に関するもの

(中項目) (2) 教科指導

- ・英語の教科化について、発音の授業はネイティブの先生に担当してもらいたい。
- ・道徳の教科化に伴う成績評価について少し不安である。先生と自分の考えが違う場合、高学年になれば先生の考えに合わせてしまうことのないように気をつけてほしい。

(3) 道徳・特別活動

- ・M2のハワイの宿泊学習の集合・解散場所について。保護者が各自で関西空港まで送っていったが、バスを出してもらえるとありがたかった。その年々によって違いがあるが、アンケートを採ってもらって決めてもらえるとありがたい。夜に集合なので、下の子ども(幼稚園児)を連れていくこととなると、次の日の登園が大変である。
- ・美山宿泊学習は楽しかったという声が多い。
- ・事前事後の学習は良いと思う。中入生には難しいが、内部進学生にとっては事前事後学習が習慣付けされていることは素晴らしい。

(6) 生徒指導

- ・子どもが怪我をしたときや子ども同士のトラブルなど発生した時に、学校から連絡をもらえないことがあった。そういうことがあると不信感を持ってしまうため、子どもの間でトラブルがあったときは、必ず連絡が欲しい。被害者側がアクションを起こさないと学校は動いてもらえないのか、ということのないように願いたい。
- ・以前は親同士で解決できたが、最近は親同士では話がすぐになくなってしまいうことが多く、学校に入ってもらわないと解決できないことがある。自分の子どもからの話だけしか聞くことが出来ないの、学校から詳しい話(聞き取りの結果)を聞かせて欲しい。

(大項目) II. 学校経営に関するもの

(中項目) (3) 安全管理

- ・育友会館の前を歩く子ども達の安全面を心配している。
- ・果樹園で遊ぶ子ども達を心配している。
- ・幼稚園ではないが、小学校の柵を跨いだりして遊んでいる児童も見る。

(5) 地域との連携

- ・「きらっ登」はたいへんありがたい。楽しいという声を聞いている。
- ・料金が少し高いという声がある。もっと安いと人数が増えるかもしれない。
- ・「きらっ登」の指導の先生が、学校の教員ではないので、子ども達と担当の先生との関わり方について、連携を進めてもらいたい。